土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

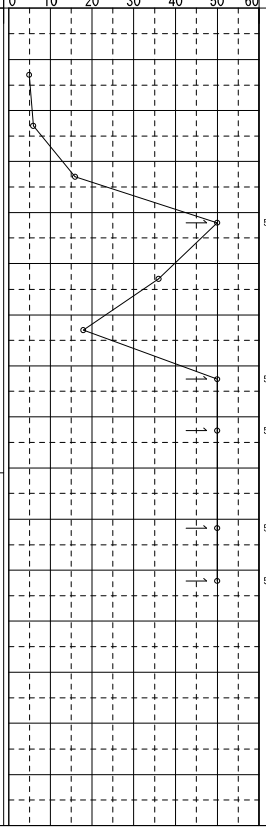
調査目的及び調査対象　道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	Bor No.3-西ノ谷川支川切土部	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 19.5791″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年11月24日～ 令和2年11月26日	東経	132° 33′ 26.4007″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 144.80m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
総削孔長	11.00m	地盤勾配	19° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D / エンジン：ヤンマーTF90M / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1				粘土質砂		褐	rd2		細～中砂を主体とする 径1cm以下の礫を混入する 細粒土分を20～30%含有する GL-2.70m付近に径10cm程度の玉石が混在する	
2										
3	141.60	3.20								
4	140.55	4.25		粘土混じり礫混じり砂		褐灰	rd3		砂は中～粗砂を主体とする 径2cm以下の礫を20～30%混入する 細粒土分を10～20%含有する	
5				玉石・礫混じり砂		暗黄褐	rd4		L=15～25cmの玉石が混在する 径7cm以下の礫を20～30%混入する 砂は中～粗砂を主体とする 粗砂状の小礫を多く混入する GL-4.15mの標準貫入試験は玉石に当る	
6						褐灰	rd3			
7	137.80	7.00								
8				礫混じり砂		灰褐	rd5		砂は中～粗砂を主体とする 径7cm以下の礫を混入する 風化礫を混入する L=10～15cmの玉石が点在する 部分的に均粒な中砂となる GL-9.00mの標準貫入試験は玉石のため未測定 GL-10.15mの標準貫入試験は玉石に当る GL-10.85m付近から風化土状を呈する	11/27 9.10
9										
10										
11	133.80	11.00								
12										
13										
14										
15										
16										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
5	1.15	1	2	2	5/300		
	1.45						
6	2.15	2	2	2	6/300		
	2.45						
16	3.15	4	6	6	16/300		
	3.45						
50以上	4.15	50			50/100	100	
	4.25						
36	5.15	8	15	13	36/300		
	5.45						
18	6.15	6	6	6	18/300		
	6.45						
50以上	7.15	15	29	6 / 20	50/220	220	
	7.37						
50以上	8.15	16	18	16 / 40	50/240	240	
	8.39						
50以上	10.15	50			50/50	50	
	10.20	50					
50以上	11.15	42	8 / 20		50/120	120	
	11.27						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				11/24
				11/25
				11/26